

豊田市長 太田 稔彦 様

提 言 書



令和5年12月22日

猿投台地域会議

猿投台地域会議委員一覧

順不同・敬称略

氏 名	ふりがな	自治区	備 考
生田 隆広	いくた たかひろ	花本	
伊藤 昌明	いとう まさあき	荒井	
伊藤 正史	いとう まさし	平戸橋二区	
宇野 晃	うの あきら	荒井	会長
岡本 正巳	おかもと まさみ	中越戸	
河合 好金	かわい よしかね	中越戸	
呉山 永石	くれやま えいせき	下越戸	
近藤 鈴男	こんどう すずお	西広瀬町	副会長
清水 有樹	しみず ゆうき	枝下町	
須藤 尊久	すどう たかひさ	下越戸	
塚田 芳司	つかだ よしじ	中越戸	
塚本 政幸	つかもと まさゆき	青木	
中尾 秀行	なかお ひでゆき	枝下町	
丹羽 知恵子	にわ ちえこ	荒井	
原田 千枝美	はらだ ちえみ	荒井	
伴 耕治	ばん こうじ	平戸橋	
藤井 修	ふじい おさむ	下越戸	
藤中 佐織	ふじなか さおり	平戸橋一区	
本多 謙二	ほんだ けんじ	平戸橋一区	
山口 五郎	やまぐち ごろう	青木台	

提言 高齢者から子どもまで交流できる場づくり

1 背景・課題

猿投台地域会議では、平成 28 年 3 月に「猿投台地区まちづくりビジョン・実施計画」を策定し、目指すまちの将来像を「豊かな自然や歴史につつまれ誇りと愛着を感じいつまでも安全・安心に生き生きと暮らすことができるまち」として掲げ、まちの魅力を高め、誰もが住みたくなる・住み続けたくなるまちづくりに取り組んでいます。

猿投台地区では、豊田平戸橋土地地区画整理事業など、新しく造られた住宅団地が多いものの、新たに転入してきた人が自治区に加入しないなど地域コミュニティが薄れつつあります。また、近年の SNS の普及や新型コロナ感染予防のための自治区行事の停滞により、住民が地域活動に参加する機会が減少しています。これにより、住民同士の関係の希薄化が進み、お互いの声かけやあいさつが少なくなっています。

また、大人による子どもへの声かけが不審者とみなされる恐れから、地域の子どもの声かけが難しくなっている実情もあります。

このような状況では、新たに地域に来た住民と従来からの住民のスムーズな関係づくりや、近年多発する自然災害の際に、住民同士で声をかけ合うなどの円滑な助け合いが困難になることなどが懸念されます。

以上のことから、猿投台地区においては、住民同士の交流の活性化が注力すべき課題であると捉え、「高齢者から子どもまで交流できる場づくり」について提言します。

2 取組内容

高齢者が子どもに昔の遊びを伝えるなどの体験型ワークショップ、健康づくり、防災等の要素を含んだイベントなどの幅広い年代の住民が交流できる場づくりの推進が必要だと考えます。

実施場所としては、猿投台交流館、平戸橋いこいの広場などの公共施設、自治区活動の拠点である自治区集会施設、わくわく事業団体など地域活動団体が整備している場所や豊田市が整備を計画している（仮）勘八公園など多様な場所が想定されます。

市に対しては、地域の実情に合わせた住民の世代間交流が促進する効果的な事業を地域とともに考え、実現するための支援を期待します。

3 期待する効果

住民同士の交流が活性化されることで、住民同士のあいさつや、地域の大人による地域の子どもの声かけが気兼ねなくできる環境がつくられます。これにより、新たに地域に来た住民が地域の情報を得やすくなり、周りの環境になじみやすくなります。また、地域の子どもの地域の大人が見守る雰囲気がつくられます。

さらに、災害の際に住民同士の声のかけ合いや安否確認などの助け合いが円滑にできる地域となっていくことが期待されます。